

No.2490 葛城山、岩橋山

日 時：2015年12月6日（日）

参加者：佐々木（L）上ノ原、岡本、高石、宮本、片山晃、片山琴美（記）（敬称省略）

8時20分富田林駅前発、水越峠行のバスに乗車、市街地を抜け森屋から水分を出ると山裾の雑木はすっかり色褪せている。例年ならまだ紅葉の美しい時期なのに…。

8時50分葛城山登山口着、民家の中の坂道を登る。たわわに実った柿の木の所を過ぎると植林の山道に入る。せせらぎの音を聞きながら徐々に登って行く。右手に大きな山崩れの所があった。

石のゴロゴロした道になり鎖の付いた大きな岩を超えると登りもきつくなり、階段も多くなる、この辺りの植林は良く手入れされ、今まで薄暗い印象だった山が明るくなった。「山頂まで40分、青崩50分」と立札のある所で休憩。（10：07～10：12）

階段を繰り返しやっと稜線に出る。話しながら歩いていると天狗谷詰めのコースを離れて上へ上へと行き林道に出てしまった3人。他の人達は下に行く、「降りようか」「ええや向うで合うから」と其の俣林道を…少し遠回りしてしまった。

広川寺コースで下からのコースを登ってきた人達と合流し、売店の前から葛城山頂へ登る。（10：58）

ススキはすっかり刈り取られ一面の笹原になっていた、葛城高原は日曜日でも人が少なく静かだった。

時折吹いて来る風はさすがに冷たい。ロッジの横のツツジ園を見下ろす所で早い昼食タイム（11：30～12：05）対面には濃緑の金剛山は幾つもの巒を刻みdeenと控え南の空を独占している。

食後はダイトレコースに行く、最初の長い下り階段以前は3回に分けていたのに今は通しになっている。

この時間になると登ってくる人達とで会う様になる。登る人しんどいやろなあー、幾つかの上り下りを繰り返し横峰で忍海への道を右に分け、トイレ休憩。

更に進んで布施城跡から新庄道を右に見送り、持尾辻で小休止。久保辻を経てひたすら岩橋山を目指す。



篠峰の階段を下ると岩橋峠（13：53～）岩橋山の急階段がある。15分位かと思うがピストンとの事か弱き老女2人峠で待つ。すぐ戻って来ると思いきやなかなか戻ってこない、待つ身は長い、

やっと一人一人と戻ってきた。岩橋山の名前の源である役行者と一言主神の伝説の岩橋を見に行つたと事。一同揃つたので峠を出発（14：27）磐城に向かう。



この道はあまり利用されてないらしく急な下りで荒れている、傾いた木橋を5～6回渡り落葉に覆

われた林道に出る。少し下ると目の前が開けて風景が一変する。広い道が交り眼下に奈良盆地が展開。
畑中の道から古い家並の村を通り長尾神社の森の横から左へ行き直ぐ磐城駅前に出た（15：53）。
超シルバーに合わせて頂いて有難う御座いました。

コースタイム

富田林駅前 8:20→8:50 登山口 8:55→9:06 山道に入る→9:33 鎖場→1059 山頂 11:07→11:30 ロッジ
横で昼食、12:05→持尾辻 13:17→13:53 岩橋峠→岩橋山（往復）14:27→14:55 林道→15:58 磐城駅